

# 食に関する指導全体計画

○生徒の実態  
 ・純朴で素直な生徒が多い。  
 ・朝食を食べてきている生徒は多いが、内容は十分とは言えない。  
 ・学年を追うごとに夜型生活の生徒が増加傾向にある。

**学校教育目標**  
 深く考え、よく対話し、主体的に探究し続ける生徒の育成

**教育方針**  
 学校とは、「学び・成長する場である」との原点に立ち、生徒一人一人の人間としての成長を促し、将来を見すえた「生きる力」を育成する。  
 そのためには生徒をどう育てるか、生徒に何をさせるか、教師はどうか支援していくかを明確にし、具体的な方策や手立てを推進する。

【第3次食育推進基本計画】  
 ・朝食を欠食する子 0%  
 ・栄養バランスに配慮した食生活を実践する国民 70%

【石川県第3次食育推進計画】  
 ・朝食を欠食する子どもの割合 0%

【教育委員会指導指針】  
 ・資質・能力を確実に身に付ける児童生徒の育成

**食育の視点**  
 ◇食事の重要性  
 ◇心身の健康  
 ◇食品を選択する能力  
 ◇感謝の心  
 ◇社会性  
 ◇食文化

**食に関する指導の目標**

「食」を通して豊かな心を育むとともに、食に関する自己管理能力を身につける。

(知識・技能) 食事の重要性について理解し、自らの食生活を管理する自治的能力を身につけている。  
 (思考力・判断力・表現力等) よりよい食生活について考え、自らの状況に合った食事ができる。  
 (学びに向かう力・人間性等) 深く考え、自らの食生活を振り返ってより良い食生活になるようにしようとする事かできる。

**◎保護者、地域の実態**

日末小学校の校区は農業を営む家庭が多い。一方串小学校は住宅が多い地区である。また、自衛隊勤務の家庭も多く、転出入も頻繁にある地域である。

**・小学校からのつながり**

日末小学校は「食で育む豊かな心」を研究主題として取り組んでおり、米作り・野菜の栽培や食に関する指導がさかんに行われている。串小学校では総合学習・マナー給食などを利用して食について取り組んでいる。

**各学年の発達段階に応じた食に関する指導の目標**

|    |  |
|----|--|
| 1年 | ○成長期である中学生の時期、特にカルシウムの摂取の重要性を学び、身につける。<br>○中学時代の食習慣が生涯の食生活に影響することを理解し、望ましい食習慣を身につける。 |
| 2年 | ○試合前の食事について学習し、新人戦に向けて体調を維持する。<br>○職場体験学習を通し、地域・地元の生産者や作物の恵みに感謝する心を養う。               |
| 3年 | ○規則正しい食生活を送るために、日常の食事を通して自己管理能力を身につける。<br>○栄養のバランスを考え、受験に向けて健康を維持する。                 |

## 食育推進組織（生徒指導部）

委員長：生徒指導主事（副委員長：保健主事）  
 委員：栄養職員、養護教諭等、その他生徒指導部に所属する教職員  
 ※必要に応じて、保護者代表、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の参加

## 食に関する指導

・各教科・領域における指導：  
 関連する教科等において、食に関する指導の視点を位置付けて指導する。  
 (国語・社会・理科・英語・技術家庭・保健体育・道徳・特別活動・総合的な学習の時間)

・給食の時間における指導：  
 献立を通しての学習(行事食・地場産物の活用等)、食育の日の一斉指導、学校放送(献立メモ)、セレクト給食での指導、準備や片付けまでの指導

・個別的な相談指導：  
 食物アレルギーを持つ生徒の保護者への面談

## 家庭・地域との連携

・毎月の給食だよりの発行、行事等に合わせた食育だよりの発行  
 ・学校給食試食会、学校保健委員会、PTA活動

## 食育推進の評価

・活動指標：給食の時間以外での食育指導の回数を増やす。  
 ・評価指標：健康に生活するためには食事が大切であると考えている生徒の割合